

議会だより

108号
2014.11



ちくちく工房の手づくり作品

一般質問	3名が登壇(第3回定例会)	2~4P
第2回臨時会	農地・水・環境保全向上対策などに1,918万円	5~7P
第3回定例会	社会保障・税番号制度システム整備に599万円	
道外行政視察	福祉施策の充実に向けて(山形県飯豊町・宮城県利府町・大崎市)	8~9P
常任委員会報告	総務厚生……小規模多機能的な支援ハウスの建設を 産建文教……土木調査の結果、9件を実施可	10~11P
要望意見書	3件を採択	
親しまれる広報をめざして	……町民8人にインタビュー	12~13P
スポットライト「ちくちく工房」	・上川管内議員研修会	14P

答 新年度予算に向け固定式、可動式、動力源も含めどれが効率的か早急に検討したい



早坂純夫 町長

問 下水道処理場周辺の内水を排水するポンプの設置が急務ではないか



生出孝男 議員

水害防止対策として内水排水用ポンプの設置を毎回水害の起きてくる地区に設置する必要がある。特に下水道処理施設の所には固定式の排水ポンプの設置が急務だと考えるがどうか。

早坂町長

大雨時は発電機とポンプをリース会社から借りる方法を取ってきた。ただ、広範囲にわたる大雨の時は確保に苦慮する。今後の方策として下水道処理施設付近への固定式排水ポンプの設置要請を地域からも受けているので、新年度に向け固定式、可動式、動力源を含



町道が40cm以上冠水 奥の建物が下水道処理場

めどの方法が効率的か早急に検討したい。

生出議員

下水道処理施設付近の樋門が内水路より高く水はけが悪い。また損傷もあることから改修を働きかけるべきだ。さらに、樋門の管理者を十分把握していないようだがそれでいいのか。

早坂町長

管理人から動作に問題があるとの報告を受け旭川建設管理部土別出張所に改善の要望を行った。出張所から樋門自体が老朽化しているので改修に向け調査の予算付けを行っているとの報告を受けている。樋門管理者は道の指定によるもので、今後は情報の連携を密に図り管理者の不在にならないように把握していく。

生出議員

今回の水害で防災体制と統制の不備が表れたと思う。日頃の指揮統制などの確認や訓練は本当になされているのか不安だがどうなっていたのか。

早坂町長

水害地の模擬図上訓練を実施しているが、人事異動などで内部体制も変化しているので全町的な議

論を進め改善を図っていききたい。また、指摘のあった点は今一度検証し、今回の水害を教訓に初動体制の充実、強化に努めたい

生出議員

剣淵川河川敷地内の雑木が防災面から見ると自然のままの範囲を超えていることから河川管理者へ雑木処理を要望する必要があるか。

早坂町長

剣淵川などの堤防内の雑木処理、床さらいを要望している。旭川建設管理部土別出張所では要望を受け、予算の範囲内での雑木処理などを進めているが十分とは言えないので今後も強く要望していく。

生出議員

洪水ハザードマップの見直しをすることと浸水域とその水系を常に再認識し、職員へ伝達していく必要があるのではないか。

早坂町長

道が調査策定した浸水想定区域図により洪水ハザードマップを制作している。今回のような浸水、冠水被害区域などが職員間に十分に認識されているとは言えないので、大小の排水施設の流水量、ルート調査研究を行い必要な周知を図っていききたい。

答 研究検討していきたい

問 子育て支援事業の拡大をすべきではないか



高橋一博 議員

近年少子高齢化が大きな社会問題となっている。特に少子化問題は深刻であり、本町においても将来を担う子どもたちが減少し続ければ町の存続にも大きな影響が出るのは必至である。いまこそ本町で現在実施している子育て支援事業を拡充し、もう一人子どもを産み育てたいと思うような支援策が必要ではないか。

保育所の3月末から4月上旬にかけての閉所時の対応と、保護者



帰りの時間がきて、お母さんと一緒に「さあ帰ろう！」

が仕事や家族の急病などによる一時保育が困難な時の対応はどうなっているのか。

早坂町長

閉所時の対応は修了式の翌日以降家庭事情により保育ができない場合、希望者については通常保育をしている。

田中住民課長

緊急時の一時保育は希望日の5日前までに申し込みを受けて対応している。

高橋議員

閉所時と一時保育の対応については保育所側が気持ちよく受け入れし、より一層利用しやすい環境づくりをすべきと思うがどうか。

早坂町長

住民サービス事業としての保育所のあり方をいま一度検証するの時間で時間をもらいたい。

高橋議員

保護者の経済的負担軽減として保育料を上の子が1年生になっても2人目の保育料をそのまま半額にすべきではないか。また、小学校・中学校の新1年生が入学時に

購入する学用品、運動着などの無料支給を実施して保護者の経済的負担軽減を図り、よりよい教育環境づくりを促進していくべきだと思いがどうか。

早坂町長

2人目の保育料の負担軽減については現在の保育サービスの充実や環境づくりが肝要と考えており、現在模索研究している。また、小・中学校の新1年生に対する学用品・運動着などの無料支給については上川北部においての事例がなく研究を要すると考えている。

高橋議員

子どもの教育にはお金がかかるので少しでも保護者の負担を軽減し、出生率を高めるための施策をまずは取組んでみて駄目なら修正すればよいと思う。これだけやっているからいいと言うことではなくて来年は一度にできないけれど、これだけやってみようという町長は言えないのか。

早坂町長

全てではないが、多少時間がかかるので、具体的な形になればと考えているので研究、検討させてもらいたい。

答 来年3月に子ども議会を開催予定

問 子どもの声をまちづくりに反映させる機会づくりは



富山弘美 議員

子どもは宝。まちづくりに関して子どもが語る夢や疑問に耳を傾け情報を共有することは必要である。平成24年12月定例会で前町長は子ども議会を実施する方向で考えたいと答えたが、その具体的方法と時期はいつになるのか。

早坂町長

平成5年7月に子ども会育成会連合会30周年事業で子どもミニ議会、平成24年11月に小学6年生が社会科授業で議会事務局が作成し



模擬子ども議会

た台本を使用して模擬子ども議会を実施した。

今年小学校でまちづくりをテーマに学習を進めている。町政や議会の勉強もしているので、総合学習のまとめとして3月に議場で児童の意見、提案を直接町長に伝える子ども議会を開催したいと要請があるので是非実施したい。

富山議員

剣淵のまちづくり、ひとつづくりの根幹として、幅広い子ども達を対象に学校の授業で取り組む子ども議会ではなく、日常のことで町長と子どもたちが話し合える場をつくる考えはないか。また、継続性のある事業となるのか。

早坂町長

議会だと授業的要素が強いとは感じる。子どもたちと膝をつき合わせ、目線を同じくして話し合うタウンミーティングも良いと考えている。

継続性については、3月の子ども議会終了後に多方面から情報収集をして、どのような形式がよいのか、継続できるのか、条件や時期も含め実施できるように検討したい。



富山議員

質問に対し答えるときには難しい言い回しなどせず誰でも理解できることばで説明してほしい。絵本作家と親交のある町長こそみんなが理解できることばで多くの感動を呼び起こしてほしいがどう考えるか。

早坂町長

難しいことばを使わず話すよう常に心がけている。今後もう丁寧なことばを選び答えていく。

農地・水・環境保全向上対策 などに1,918万円追加

平成26年
第2回臨時会
8月12日

補正予算

○一般会計に1,918万円を追加しました。

主な内容は普通交付税118万円、道補助金681万円、前年度繰越金1,119万円などを財源とし、農地・水・環境保全向上対策負担金617万円、農業基盤整備促進事業577万円、簡易水道事業特別会計繰出金389万円などです。

可決全員賛成



農地・水・環境保全向上対策の草刈り

○簡易水道事業特別会計に389万円を追加しました。

主な内容は一般会計繰入金を財源とし、水道施設等新設、増設及び改修工事312万円などです。

可決全員賛成



水道施設工事中(仲町町道5線)

社会保障・税番号制度 システム整備に599万円

平成26年
第3回定例会
9月17日

条例改正

○重度心身障害者及びひとり親家庭等医療費の助成に関する条例の一部を改正

「母子及び寡婦福祉法」を「母子及び父子並びに寡婦福祉法」など文言を改めるものです。

可決全員賛成

○保育所設置条例の一部を改正

上記と同様に文言を改めるものです。

可決全員賛成

○町有バス運送事業条例の一部を改正

市街地温泉連絡線を通年運行とし全区間乗車料金を1回につき50円に改正しました。

可決全員賛成

規約の変更

○北海道市町村職員退職手当組合理約の変更について

組合加入者の増加による変更です。

可決全員賛成

補正予算

○一般会計に7,068万円を追加しました。

主な内容は普通交付税987万円、地域介護・福祉空間整備等事業費補助金3,874万円、社会保障・税番号制度システム整備費補助金599万円などを財源として、社会保障・税番号制度導入システム改修業務委託料533万円、地域介護・福祉空間整備等事業交付金3,874万円、高齢者等冬の生活支援給付費357万円、大通商店街安心・安全施設整備事業補助金385万円などです。

可決全員賛成

この続きは右上から

次ページ左上から

「高齢者等の冬の生活支援事業」のおしらせ

(剣淵町健康福祉課福祉介護グループ)

剣淵町では、市町村民税が非課税である高齢者・障がい者・ひとり親・生活保護世帯等の冬の生活を支援することを目的として、燃料費等の冬期間の生活用品購入の一部を助成する「高齢者等の冬の生活支援事業」を実施することと致しました。

対象となる世帯は、平成25年12月1日現在の剣淵町の住民基本台帳登録者で次の世帯です。助成を希望する世帯主の方は、ふれあい健康センター内健康福祉課で申請手続きをしてください。

助成を決定した世帯には、後日、決定通知書を送付しますので指定期日に商品券をお受け取りください。

【対象世帯】

冬の生活支援事業申請案内



グループホーム葉の増設工事



街路灯LED取替え工事

質疑

高橋毅議員：※社会保障・税番号制度の導入にかかる個人番号カードについての問題点と住基ネットカードとの関連性は。

総務課長：個人番号カードは一人一人に12桁の番号が付与され、その番号情報については厳格に管理される。印鑑登録などの住民記録や国民健康保険などの情報、住民税、固定資産税などの収納管理などが盛り込まれることになる。住基カードについては無くなって個人番号カードに切り替わることになる。

住民課長：平成27年10月より準備し28年1月に交付と考えている。

武山議員：個人番号カードについては子どもが産まれた時から番号が付いてくることになるが問題はないのか。

総務課長：国民全員にということから「おぎゃあ」と産まれた時にその番号が付与することになる。番号カードについてはあくまでも希望に応じて発行することになる。

平成27年10月から、国民の皆さま一人一人に12桁のマイナンバー（個人番号）が通知されます。

- ・市区町村から、住民票の住所に通知カードが送付されます。
- ・通知カードを受け取られた方は、同封された申請書を郵送すること等により、市区町村の窓口で「個人番号カード」の交付を受けることができます。

平成28年1月から、マイナンバーは社会保障、税、災害対策の行政手続で利用します。

- ・年金、雇用保険、医療保険の手続、生活保護や福祉の給付、確定申告などの他の手続など、法律で定められた事務に限って、マイナンバーが利用されます。
- ・民間事業者でも、社会保障、源泉徴収事務などで法律で定められた範囲に限り、マイナンバーを取り扱います。

法律で定められた目的以外でマイナンバーを利用したり、他人に提供したりすることはできません。

- ・他人のマイナンバーを不正に入力したり、正当な理由なく提供したりすると、処罰されることがあります。
- ・マイナンバーと結びついた個人情報を守るため、様々な対策を講じます。

マイナンバーは、行政を効率化し、国民の利便性を高め、公平・公正な社会を実現する社会基盤です。

<p>行政の効率化</p> <p>行政機構や地方公共団体などで様々な業務の融合や効率化を図っている段階で、マイナンバーの導入により、より正確に伝えるようになります。</p>	<p>国民の利便性の向上</p> <p>自治体間の連携など、行政手続が簡便化され、負担が軽減されます。情報連携や記録のデジタル化による情報の連携や提供などのサービスを利用できます。</p>	<p>公平・公正な社会の実現</p> <p>国や自治体の行政手続の透明化を図ります。また、国や自治体の行政手続の透明化を図ります。また、国や自治体の行政手続の透明化を図ります。</p>
---	---	---

マイナンバーは一生使うものです。大切にしてください。

マイナンバー：http://www.cas.go.jp/taisaku/bangoseki/index.html 公式twitter: https://twitter.com/MyNumber_PR

※社会保障・税番号制度(国民総背番号制)とは政府がすべての国民に番号を付与し、個人情報管理しやすくする制度。電子計算機による行政事務の効率化を目的とする。

大澤議員：ふるさと納税の納税者への特典について定期的な見直しと町民からの新たな商品アイデアへの対応は。またPR方法でパンフレットの印刷500枚程度では足りないのではないか。

総務課長：年間を通しての提供ということで15種類の特典を用意した。町民からの提案があれば内部で検討して取り組んでいきたい。パンフレットについては少ないとは思いますが、インターネットの活用も考えている。



じゃがじゃがデー

質 疑

高橋一議員：けんぷちじゃがじゃがデーのチラシについて町外はどこまでのエリアに配布しているのか。

農林課長：チラシは町内のみの配布。あとは道の駅での告知と、旭川で発行している無料情報誌から取材があり、記事として載せている。

○国民健康保険事業特別会計に145万円を追加しました。

国庫負担金等精算返戻金117万円などです。
可決全員賛成

○介護保険事業特別会計に763万円を追加しました。

前年度繰越金405万円、介護給付費負担金過年度分277万円などを財源として、精算返戻金130万円、一般会計繰出金632万円などです。
可決全員賛成

○簡易水道事業特別会計に43万円を追加しました。

一般会計繰入金43万円を財源として浄水施設、設備等修繕工事43万円です。
可決全員賛成

○下水道事業特別会計に12万円を追加しました。
繰越金を財源として職員旅費12万円です。
可決全員賛成

人 事

○教育委員会委員の任命

次の方の任命について議会の同意を求められましたので同意しました。

安田 弘孝氏 南桜町1003番地（新任）

○人権擁護委員の推薦

次の方の推薦について議会の意見を求められましたので適任としました。

鴻野 瑞節氏 仲町34番2号（再任）

山口 茂樹氏 屯田町258番地（新任）

報 告

○平成25年度健全化判断比率報告

実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
— (15.0%)	— (20.0%)	7.5% (25.0%)	— (350.0%)

※実質赤字額及び連結実質赤字額がないため、並びに将来負担比率が算定されないため「—」を記載しています。

※()内は早期健全化基準数値を記載しています。

○平成25年度資金不足比率報告

特別会計の名称	資金不足比率(%)
簡易水道事業特別会計	— (20.0%)
下水道事業特別会計	— (20.0%)

※資金不足額がないため「—」を記載しています。
※()内は経営健全化基準数値を記載しています。

この続きは右上から

福祉施策の充実

まちづくりをめざして

りふ

宮城県利府町・大崎市

7月16日 利府町 子育て支援への取り組み

視察の概要

利府町では、平成18年に子育て支援宣言が新設され、合計特殊出生率(女性が一生に産む子供の数の平均)に注目、全国平均と比べて低く少子化の急激な進行が懸念されることから「5年で出生率を全国平均まで上昇させる」との目標を掲げ、4つの柱を掲げて実践している。

そのうちの経済的支援では「子育てや教育にはお金がかかりすぎるために理想の数をもてない」とのアンケート調査結果から小学校就学前の2年間、第3子以降の児童の保育料の無料化、または助成することとした。所得の高い世帯は町のサービスに制限が多いことから、制限を外し誰でも受けられるようにしている。また、小・中学校の新1年生全員へ運動着を無償支給したり、教育にかかる教材費などの学校徴収金に対して1人当たり年間5,000円を助成している。

女性の多様な働き方を支援するために、子育てと仕事の両立ができる環境づくりとして「ファミリーサポートセンター」を設置して子育て支援を希望する会員と支援が可能な会員がお互いに支えあう組織ができていて会員相互の柔軟なサービスが期待され高い評価も受けていることなどが参考すべき事項であった。



子育て支援の取り組みの説明



子育て支援の取り組みの説明を受ける



利府町庁舎前にて

少子・高齢者

安心して暮らせる

いいで
視察地 山形県飯豊町、



在宅複合型老人施設運営の説明を受ける



「福祉の里めざみ」前にて

7月17日 大崎市 あ・ら・伊達な道の駅

視察の概要

道の駅の社長は、行政の長との兼務ではなく運営する社長としての専任である。そのため駅内の様子や客の要望、従業員の様子など自分の目で見ていてわずかな変化にも敏感に、より柔軟に運営している。テナントもJA含めて4店が入店しており、さらにはコンビニも1店、そして道内の有名な土産物店も入って多角的な経営がされている。農産物直売所では、販売数が随時集計されていてそれがメールシステムにより生産者へ随時送信されているため、いつ商品を補充しなければならないのかわかるようになっている点は非常に参考になったところである。

7月15日 飯豊町 在宅複合型老人施設「福祉の里めざみ」

視察の概要

飯豊町は高齢化率26.3%と山形県内でも高い状況にある。高齢者福祉施設は特養しかなく、これにデイサービス、ホームヘルプ事業の2施設が併設されているだけであった。施設の利用増加を考えたときに、在宅型の福祉施設の充実が急務であったことから、在宅サービスの拠点として社会福祉協議会が運営する在宅複合型老人福祉施設「福祉の里めざみ」が開設された。

ここでは、在宅介護支援センターを軸に訪問介護・通所介護・短期入所生活介護の各種サービスを、利用者や家族(介護者)との話し合いの中から必要なものを計画的に提供し、在宅介護を支援する施設であった。

飯豊町の社協は、地域に存在する福祉課題や法の制度では補うことができない多様な福祉の要望に対し、住民を主体に問題を解決してその改善を図るために活動を行うことを目指している点が際立っていたところであり、学ぶべきところである。



「あ・ら・伊達な道の駅」社長による事業説明

福寿寮北側へ

小規模多機能的な 支援ハウスの建設を

調査日 平成26年4月15日
平成26年8月7日

調査事項

高齢者福祉について

調査の所見

年々高齢化率が高くなり、特養入所を希望してもひらなみ荘の利用は難しく町内の高齢者は他市町村の施設で生活している。グループホームが増床中なので待機者は少し解消される見通しだが自己負担が多いので町助成を考える必要がある。また、介護保険制度の改正により行き場がなくなる高齢者を救うために、小規模多機能的な支援ハウスを福寿寮の北側へ建設するべきである。

地域福祉計画・地域福祉実践計画が策定されたが、現在実施している事業をまとめただけで、新しい計画はない。本来、住民福祉は行政が担うものでもある。社会福



高齢者福祉についての調査

祉協議会と行政との連携は不可欠であり、福祉の中核団体として長期的展望に立ち専門性を持った人事などの抜本的改革が必要である。また社会福祉協議会の事業推進にあたり行政の支援強化を強く望むものである。

調査の中で

次のような質疑が

その概要

高橋毅委員

要介護1・2の受け皿はどうなるのか。

菜の増床が行われるが、職員は確保できるのか。

酒井健康福祉課長

菜の増床で対応できると考えている。介護従事者の確保は難しい状況と聞いているが、菜は旭川でも事業を展開しているので期待している。

菜としては入居費用の助成を期待している。

生出委員

待機者の現状はつかんでいるのか。

酒井課長

ひらなみ荘から情報をいただいている。また入居判定委員会からも資料が出てくる。

生出委員

ひらなみ荘からではなく、町の健康センターが町民の状況を把握すべきではないか。

尾門主幹

月1回サービス調整会議でケアマネジャーが集まる時に包括支援の中で、本人への対応や家族に話を聞いている。

生出委員

福寿寮増床の話はどうなっているのか。

酒井課長

ほぼ自立している10名の方が入居している。段階を下げた支援的ケアハウスの検討は必要だと思いがまだ話は進んでいない。

卯城委員

一人でも寝込むと家族の生活が立ちいかなくなる。要介護1・2の人を救うために多機能型施設は必要だと思いが造れないのか。

酒井課長

第6期介護保険事業計画の中で検討したい。

生出委員

ボランティア活動に地域通貨を活用してはどうか。

酒井課長

福祉ポイントや地域通貨で活動人数が増えるか他町村で活用しているところを参考にしたい。

日頃からの災害意識の啓発と ハザードマップの再確認を強く望む

調査日 平成26年8月29日

調査事項

土木調査について

調査の所見

現地調査の対象となった14件のうち9件を実施可とした。

要望箇所は市街地については主に町道に関する要望、農村部においては排水さらいなどに関する要望が依然として多く、背景には近年の集中豪雨が影響していると思われるが、箇所によっては畑の畦の有無も排水埋没の一因と考えられるので、大雨時対策として検討すべきである。

また、行政対応に適さない箇所が本年もあり、改良区関係は農地・水資源保全組合等での対応も必要と思われる。いずれにしても限られた予算を有効かつ緊急性に配慮し対応すべきである。

近年、全国的に想定外の災害が

多発しており、本町においても日頃からの災害意識の啓発とハザードマップの再確認を強く望むものである。



現地土木調査(央南線一南桜町)

要 望 意 見 書

要望意見書を全員賛成で可決し、関係省庁へ送付しました。

一、軽度外傷性脳損傷に関わる周知及び労災認定基準の改正などを要請する要望意見書

一、業務上の災害または通勤災害により軽度外傷性脳損傷となり、後遺障害が残存した労働者を、労災の障害(補償)年金が受給できるよう、労災認定基準を改正すること。

二、労災認定基準の改正に当たっては、他覚的・体系的な神経学的検査法など、画像に代わる外傷性脳損傷の判定方法を導入すること。

三、軽度外傷性脳損傷について、医療関係をはじめ国民、教育機関への啓発・周知を図ること。

二、林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める要望意見書

三、電気料金再値上げの見直しを求める要望意見書

北海道電力株式会社が7月末家庭向け電気料金の平均17・03%値上げを経済産業省に申請したことにより、家庭向けは昨年9月の値上げ前と比べると26%、企業向けは36%も高くなり、オール電化住宅にあっては60%もの値上げになることから、2年連続の値上げはまさに生活危機、経済危機と言っても過言ではないことから次の2項目を強く要望しました。

一、経営の合理化を加速させ再値上げの中止、または値上げの大幅な圧縮を強く求める。

二、地域経済にその影響が生じることのないよう、国において必要な財政措置などを講じること。

町民インタビューー 親しまれる広報をめざして



みんなの声がちづくり

地元の若者が地元に残ってくれるような町に

東町 野川 志保さん



- ①一般質問や町民インタビューの記事に関心があります。
- ②写真が多く表紙も中の記事もとても見やすく良いと思います。
中高生などが興味をもつ記事が少しあれば良いと思います。
- ③議員と町民や子どもたちがもう少し近寄れる行事があればよいと思います。
地元若者が増えて町がもっと活性化すると良いと思います。

町民の写真も掲載されていて親しみやすい

西町 平出 健さん



- ①町民インタビューや子どもたちの記事が載っているところを見ます。
- ②他の町よりも町民の写真などが掲載されていて親しみがあり良いと思います。文字の量と写真のバランスも良いと思います。
- ③教員住宅や町営住宅の風呂が古くてレークサイド桜岡の日帰り入浴を利用したいが、日帰り入浴の営業時間が短く仕事が終わった後に利用しにくいので営業時間を延ばしてほしい。生ごみの出す日を増やしてほしい。

インタビュー項目

- ①興味を感じる記事は
- ②紙面の良い点・改善点
- ③町や議会に対する要望

- ①一般質問と質疑応答やスポットライトなどをよく読みます。
議会の概要が分かって関心をもつて読んでいます。
- ②写真、グラフなどが適度に入っていて親しみやすく良いと思います。
時には訂正文も載るけれど、校正はしっかりしてほしいです。
- ③地域の代弁者として選ばれた方々なので目玉となるような提案を期待しています。



西岡町 後藤 俊一さん

地域の代弁者として大きな提案を期待しています

下記の4項目を小・中・高校生へインタビューをしました
 ①議会広報を知っていますか ②剣淵町をどう思いますか
 ③どういう町だったらいいと思いますか
 ④議員に聞きたいことはありますか

自然が豊かなまちで いいところ



剣淵小学校
児童会長
下山 聖奈さん

- ① 知らないです。
- ② 自然が豊かでいいところだと思います。
- ③ 遊ぶところとかお店がもっと多かっただらいいと思います。セブンイレブンなどもあったらいいと思います。
- ④ いま総合学習で勉強していることをまとめている最中なので、何か出てきたら質問したいと思います。

今のままで自然もこのまま 残ってほしい



剣淵中学校
生徒会副会長
斎藤 成輝さん

- ① 家でおばあちゃんが中学校のことが載っていると教えてくれるので知っています。
- ② 町の人たちがやさしくあたたかいのでとても住みやすい町だと思います。
- ③ 今のままで自然もこのまま残ってほしいです。生徒一人ひとりにタブレットを持たせてください。理科の実験器具が古すぎて授業がいきとどかないので新しくしてほしいです。
- ④ 議員の仕事はやりがいがありますか？

※タブレットとはキーボードがなく画面をタッチして操作するコンピューター

小さなことよりも大きな ことに助成を

西原町 梅津 和直さん



- ① 一般質問と定例会等の質疑応答は良く読んでいます。
- ② 議員の考え方がわかるので質疑応答をもう少し多く載せてほしい。
- ③ 定例会ごとに4～5人ぐらいは一般質問をしてほしいと思います。
小さなことまごましたことに助成をしないで大きなことに助成をしてほしいです。

みんながあいさつしてくれ あたたかい町



剣淵高等学校
佐藤 安由未さん



剣淵高等学校
中村 美耶さん

- ① 知らないです。
- ② 自然豊かでみんながあいさつしてくれ、よい町です。町民みんな良い人ばかりです。介護や子育てに力を入れていると思います。
- ③ バリアフリーにはなっていないので、目の見えない人など障害を持つ人にやさしい町にしてほしい。
汽車の待ち時間があるときなどに買い物に行けるような所があるといいと思います。
- ④ 議員は何人いてどんな仕事をしているのですか

温かみのある 絵本の館に

ちくちく工房の始まりは、平成11年当時絵本の館のスタッフの一員で絵本作家の新井陽子さんの呼びかけで、手仕事に興味のあった私たちが旧絵本の館に集まりました。待っていたのは赤、青、黄色のクッション作りました。それ以来現在に至っています。



作業の様子



新井陽子さんのデザイン

主な活動内容は、布を中心とした、季節の タペストリー、クッション、キャラクター物、ごっこハウス内の小物類などの作成です。メンバーは5名で、中には転居された方が今も来てれています。活動日は毎月第1、第3月曜日で、時間は午前10時半から午後4時までです。

ちくちく工房が始まって15年になりますが、ここまで続けてこれたのは針仕事が好きなこと、完成した時の喜び、飾られた作品を来館者が見てくれて感想を聞かせていただいたり、子どもたちが使っている姿を見ていると私

上川管内町村議会議員研修会

去る10月28日、鷹栖町で上川管内町村議会議員研修会が開催されました。はじめに長谷川幸洋氏(ジャーナリスト)による「政局展望」と題し、増税問題をはじめとした国内外の様々な問題について話をされました。中でも国民の70%以上が消費税10%への増税に反対していることなどから、増税は先送りとなる可能性が高いと示されました。次に樋口美雄氏が「地域の雇用と産業創成」について講演され、大都市への人口一極集中の中で地方の衰退が著しくなり、これまでの国の施策には限界があり、他人任せ、国任せではなく地方自らが魅力ある雇用の創出や地域間連携を強めるなど、地域の在り方を改めて問うことが必要になると示されました。



たちも励みになることです。作品が出来上がるまでには、布

選びから始まりメンバーで意見を出し合い助け合って楽しく作っています。今まで特に思い出深い作品は、新井陽子さんデザインで絵本の館に飾られているタペストリーです。それは剣淵町をイメージした景色、旧絵本の館、桜岡湖を表しました。完成までには3年かか

りました。満足いく作品になっ

たと思っています。ちくちく工房は今後も楽しく続けていきたいと思っています。興味を持たれた方は一度遊びに来てみてください。

ちくちく工房会員一同 寄稿

※タペストリーとは、壁掛けなどに使われる室内装飾用の織物の一種